

.....

館園名 : 大垣市 金生山化石館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1985年11月3日

所在地

- ・ 〒503-2213 岐阜県大垣市赤坂町 4527 番地 19

公式サイト

- ・ <http://>

設立主体

- ・ 大垣市

運営主体

- ・ 財団法人大垣市文化事業団

設立目的

- ・ 化石標本の展示・収集・調査・研究・整理・保存と公開をして、生涯学習の場としていく。

展示概要

- ・ ジオラマ「赤坂の海」音声解説。
- ・ 「金生山とは」地質区分、岩相標本、航空写真、地質図。
- ・ 「失われた世界」（古生代、中生代、新生代）環境・生態図、県内化石産地、代表化石。
- ・ 金生山産化石 約 700 点。
- ・ 大理石工芸品

活動概要

- ・ 腕足貝展、陸貝展。
- ・ 寄贈化石展。
- ・ 文化（化石）講演会。
- ・ 化石講座（夏・秋）。
- ・ 文化事業団「年報」発行

延床面積

- ・ 254 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 1名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 663,000 円（2003 年度）

総資料点数

- ・ 7,930 点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ トイレ ・ 倉庫。
- ・ 事務室。
- ・ 収蔵庫。
- ・ 作業室。

2. ボランティア活動 名称：金生山化石研究会のボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1975 年頃より、金生山の化石の保存と収集・研究を含めて公開と生涯学習の立場から活動を展開することになった。
- ・ 毎月の定例研究会や、毎年の講演会で、一般市民にも参加を得ている。
- ・ 又、化石講座や化石館内の展示に支援をしている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 20 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性：17 名、女性：3 名
- ・ 平均年齢 55 歳：男性 55 歳、女性 55 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 金生山化石研究会のボランティア。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 毎月例会の予定・活動内容を葉書にて、会員に案内している。
- ・ 大学教授より指導を受けている。
- ・ 行事等には市の広報などに掲載して広めている。

関連する出版物

- ・ 「金生山」—西美濃の生いたちをさぐる—（1997 年）
- ・ 「金生山の記録」—石灰岩と化石—（1989 年）

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①金生山化石研究会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1975 年

◇活動人数

- ・ 20 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 化石研究交流 ・化石講座支援。
- ・ 化石館展示（常設・企画）支援。
- ・ 文化（化石）講演会支援。

◇活動日

- ・ 毎月第 1（土）曜日・第 1（日）曜日 その他行事のある日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 市・文化連盟より補助金 45,000 円。

◇運営（シフト 等）

- ・ 都合のつく人の集合で活動している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 毎月第 1（土）曜日・第 1（日）曜日及び行事のある日、事務局・研究部・講演会・採集会・例会運営等。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 身近な知人等より勧誘。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ボランティアの自主的勉強会（月 1 回）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 化石講座中、化石採集時等、保険加入

◇評価

- ・ 市・文化連盟より表彰。

◇課題と展望

- ・ 現職で多忙の人や高齢化、若人の加入による展開。

◇その他

- ・

.....

館園名 : かかみがはら航空宇宙博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1996年03月23日

所在地

- ・ 〒504-0924 岐阜県各務原市下切町5-1

公式サイト

・

設立主体

- ・ 岐阜県各務原市

運営主体

- ・ 岐阜県各務原市

設立目的

- ・ 「各務原の空で、日本の航空宇宙関係者は何にチャレンジし、何を遺したのか」をメインテーマに、航空宇宙文化都市づくりを目指す各務原市のシンボリック施設として建設。

展示概要

- ・ 各務原ゆかりの実機、日本の航空・宇宙史上重要な実機35機、および関連資料を展示。
- ・ シミュレータに搭乗することにより、多様な擬似飛行体験ができる。

活動概要

- ・ 実機コクピットへの搭乗会などを開催。

延床面積

- ・ 8,476 m²

全職員数

- ・ 23名

年間運営費

- ・ 244,253千円(2004年度)

総資料点数

- ・ 2,000点

その他

- ・ 2005年4月より再整備計画2年で、リニューアル計画中。
- ・ 指定管理者制度を見越して、企画運営を見直す予定。

2. ボランティア活動 名称：博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 館設立からの協力者に、ボランティアとして展示物の点検・補修・解説をして頂いている。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 5名（2004年）
- ・ 男性：5名、女性：0名（ 年）
- ・ 平均年齢65歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示機材の整備。

活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。9：00～17：00。
- ・ 常時駐在し、館側の要望に応じている。
- ・ ボランティアの確保が課題。
- ・ ボランティアが活躍できる場の確保が課題。
- ・ 館とのコミュニケーションを図ることが課題。

関連する出版物

- ・ 検討中。

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①展示機材の整備

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 5名(2004年)

◇活動内容

- ・ 展示機材の整備(復元・修復)を行う。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日(休館日を除く)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 180,000円を計上。

◇運営(シフト 等)

- ・ 1日、2~3名。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 年2回、活動報告を提出。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 計画中。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修を行う予定。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 2005年より、復元業務は一時中止。修復点検のみの活動クラブを計画中。
- ・ 団体客への解説業務も検討している。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 岐阜県現代陶芸美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2002年10月12日

所在地

・ 〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5

公式サイト

・ <http://www.cpm-gifu.jp/museum>

設立主体

・ 岐阜県

運営主体

・ 岐阜県

設立目的

・ 岐阜県東美濃地域は全国有数の陶磁器生産地であり、そのことが同地域の最大の地域特性となっている。こうした地域と連携した美術館活動を推進し、地域文化の振興・発展を図るために設立された。

展示概要

・ 陶芸の現代をテーマとして、国内外にこだわらず、世界各地の近現代の陶芸作品を収集している。また、これまで美術館の収集対象となりにくかった実用陶磁器も再評価し収集・展示をしている。

活動概要

・ 国内外のすぐれた作品や近現代陶芸に焦点をあてた企画展を開催。
・ 国内外の講師をむかえての講演会、シンポジウム、教育普及セミナーにおける、お茶会や作家をむかえてのワークショップを実施。
・ 図録、研究紀要、ニューズレター「セラパ」を発行。

延床面積

・ 1,318 m²

全職員数（常勤職員）

・ 10名（2004年12月現在）

年間運営費

・ 227,527,000円（2003年度）

総資料点数

・ 629点（2004年12月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：岐阜県現代陶芸美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・当館の目指す姿である「開かれた美術館」「地域とのコミュニケーションを図ることのできる美術館」という項目の実現のため、地域の方の力をお借りし、美術館と来館者をつなぐために設立した。来館者のアンケートから「作品についての説明が欲しい」という意見が多数あり、学芸員の作品解説とは違った視点からの作品鑑賞を試みるということで、ボランティアスタッフによるギャラリートークの実践を計画している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 6名（2004年12月現在）
- ・ 男性：1名、女性：5名
- ・ 平均年齢47歳：男性66歳、女性43歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：学芸部 教育普及課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（嘱託職員）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①常設展示のギャラリートーク（2005年3月20日より）…現在研修中。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・2005年3月より開催される展覧会から、ボランティアスタッフによるギャラリートークを実施します。現在は2004年9月より開始しているギャラリートークのための研修を行っています。ボランティア活動として実際に始動するのは2005年3月20日からです。

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし。

活動個別シート 活動名：①常設展示のギャラリートーク

◇活動開始年（西暦）

- ・2005年

◇活動人数

- ・6名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・常設展示のギャラリートーク。

◇活動日

- ・毎週日曜日を予定（研修は2004年9月より2005年3月まで16回）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・平成16年度文化庁ボランティア推進モデル事業の補助を受けている。
- ・ボランティアスタッフルーム有。

◇運営（シフト 等）

- ・毎週日曜日、ギャラリートークを行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ホワイトボードを利用したの情報交換。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・2004年3月より6月まで、新聞、HP、市の広報、チラシ、ラジオ、TVで募集。
- ・資格：美術に興味のある方。
- ・任期：1年。以後毎年更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・岐阜県現代陶芸美術館ボランティア研修（ギャラリートークの要請講座）16回。
他館から講師をむかえたり、館長、学芸員、職員が講師をつとめる。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボランティア保険に加入（費用は文化庁ボランティア推進モデル事業より）。
- ・展覧会観覧料無料。

◇評価

- ・なし。

◇課題と展望

- ・実際に活動を行って見ないと分からない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 岐阜県博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1976年05月05日

所在地

- ・ 〒501-3941 岐阜県関市小屋名字小洞 1989

公式サイト

- ・ <http://www.museum.pref.gifu.jp>

設立主体

- ・ 岐阜県

運営主体

- ・ 岐阜県教育委員会

設立目的

- ・ 岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を公開し、併せて、教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

展示概要

- ・ 岐阜県の人文、自然などに関する諸資料を収蔵・展示。
- ・ 岐阜県にゆかりのある個人、団体のコレクションや作品を公開・展示。

活動概要

- ・ 企画展覧会（年7回）、講座・講演会（年90回程度）、マイミュージアムギャラリーの展示（年8回）を開催。
- ・ 館報、調査研究報告を出版。

延床面積

- ・ 10,439.97 m²

全職員数

- ・ 31人

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 83,148点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：博物館サポーター

活動目的・経緯

- ・ 1995年5月、開放・参加・創造を理念とする岐阜県博物館において、各種博物館事業に対する県民の参加・支援体制として活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 60名（2004年）
- ・ 男性：20名、女性：40名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸部教育普及担当 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①催し物の受付・補助、②資料整理（植物）。

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ 研修会を実施。
- ・ 4月の県広報にて一般公募。大学に、応募依頼。
- ・ 2年ごとに更新。
- ・ 保険には加入していない。
- ・ サポーター会員の増員、運営に携われるサポーターの育成が課題。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート 催し物の受付・補助、資料整理（自然）

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 60 名（2004 年）

◇活動内容

- ・ 催し物の受付・補助、資料整理（自然）

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 館により運営。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 4 月の県広報にて一般公募。大学に、応募依頼。
- ・ 2 年ごとに更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 研修会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険には加入していない。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ サポーター会員の増員、運営に携われるサポーターの育成が課題。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 岐阜市科学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1988年11月03日

所在地

- ・ 〒500-8389 岐阜市本荘 3456-41

公式サイト

- ・ <http://www.city.gifugifu.jp/event/kagaku/index.htm>

設立主体

- ・ 岐阜市

運営主体

- ・ 岐阜市

設立目的

- ・ 楽しみながら科学に親しめる活動を通して、子どもたちの興味や関心を高めて、科学する心や創造力をはぐくみ、あわせて市民の科学知識の普及、向上を図ることを目的としている。

展示概要

- ・ プラネタリウムで星空の紹介や神話等に関する番組を放映している。
- ・ 常設展示は、「郷土の自然」「科学技術」「宇宙気象」「ギフトョウランド」のテーマ別に参加体験を通して学べる場である。

活動概要

- ・ 夏の特別展－夏休み期間中に開催。
- ・ 教室活動－科学教室、サイエンス工房、ロボット教室、等を開催。
- ・ 情報サービス－科学相談室、天体観望会等を開催。

延床面積

- ・ 4,559.32 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 8名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 185,438,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 16,566点（2004年09月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：岐ボランさん

活動目的・経緯

- ・ 1998年10月に新館2階に展示室「ギフチョウランド」のオープンを期に設立。
ギフチョウランドの中の展示紹介を主な活動としてスタートしたが、現在では、他の展示紹介等の仕事に取り組んでいる。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 2名（2005年01月現在）
- ・ 男性：2名、女性： 名
- ・ 平均年齢 57歳：男性 57歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：学芸グループ
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示紹介。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://www.city.gifugifu.jp/event/kagaku/index.htm>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①展示紹介

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1998年

◇活動人数

- ・ 2名（2005年01月現在）

◇活動内容

- ・ ギフチョウランドを中心とした展示紹介。

◇活動日

- ・ 不定。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室は設置。

◇運営（シフト 等）

- ・ 不定。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 随時。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 申し込みがあった場合に対応。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ プラネタリウム の招待券のプレゼント。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ 今後の活動についてどうしていくかが不透明。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 岐阜市歴史博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1985年11月01日

所在地

- ・ 〒500-8003 岐阜県岐阜市大宮町2-18-1

公式サイト

- ・ <http://www.city.gifu.gifu.jp/event/rekishi/index>

設立主体

- ・ 岐阜市

運営主体

- ・ 岐阜市

設立目的

- ・ 市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、あわせて資料の保存を図り、豊かな市民文化の発展に寄与することを目的として建設。

展示概要

- ・ テーマ「金華山と長良川流域文化の歴史」：美濃地方の原始から現代に至る歴史を、古墳関係資料、古代寺院瓦、須恵器、美術工芸品など約2,300点の資料をもとに展示。
- ・ テーマ「長良川の鵜飼」：120点余の国指定重要有形民俗文化財「長良川鵜飼用具」を中心に、伝統的な長良川鵜飼漁を明らかにしている。

活動概要

- ・ 特別展、講座（考古・歴史・美術・民俗）、講演会、夏休みの子ども向け歴史講座、映画会を開催。
- ・ 博物館だより、年報、研究紀要、展示解説書、展覧会図録を出版。

延床面積

- ・ 5,802.9㎡

全職員数

- ・ 17名

年間運営費

- ・ 345,446千円（2003年度）

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：ものしり博士

活動目的・経緯

- ・ 1999年1月から2月にかけて活動。
- ・ 以後、毎年、小学3年生を主な対象とし、ジオラマ形式とハンズ・オンを最大限に取り入れた展覧会「ちょっと昔の道具たち」期間中に活動（※会期や開催時期は毎年異なるが、「ちょっと昔の道具たち」は1～3ヶ月以下の日程）。
- ・ 展覧会「ちょっと昔の道具たち」の内容が小学3年生を主な対象としており、学校、まちかど、家の中、家のまわりの4コーナーを設置し、ジオラマ形式とハンズ・オンを最大に取り入れた展示内容となっているので、来場した子どもたちと展示品とをより深く結びつけ、学習効果をあげるねらいで導入した。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 58名（2004年）
- ・ 男性：26名、女性：32名（2004年）
- ・ 平均年齢65.6歳：男性67.6歳、女性64.0歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸グループ（教育委員会） 担当人数：常勤4名・その他（嘱託）1名

活動の種類

- ・ ①体験活動の補助。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①体験活動の補助

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 58 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展覧会「ちょっと昔の道具たち」期間中、体験活動の補助に携わる。

◇活動日

- ・ 期間中の毎日 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 期間中、館内の一室をボランティア控え室に充てている。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館により運営。
- ・ 午前午後、各 5 人程度活動。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 期間終了後、反省会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 年 1 回、一般公募。
- ・ 友の会会員へのダイレクトメール、市広報、新聞、雑誌などで呼びかける。
- ・ 市のボランティアあっせん窓口にも、情報を送る。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が、開会直前、または直後に、会場の案内と体験指導についての研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険への加入は、任意。

◇評価

- ・ ものしり博士各人に、感謝状 (「お礼の言葉」) を贈呈。

◇課題と展望

- ・ 研修を充実させたい。
- ・ リニューアル後の常設展に導入を計画しているボランティア活動と、どのように整合させて行くか、検討する必要がある。
- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : サイエンスワールド (岐阜県先端科学技術体験センター)

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1999年 07月 08日

所在地

・ 〒509-6133 岐阜県瑞浪市明世町戸狩 54

公式サイト

・ <http://www.astec-gihu.jp/>

設立主体

・ 岐阜県

運営主体

・ 財団法人 岐阜県研究開発財団

設立目的

- ・ 青少年への科学技術理解増進、人材育成。
- ・ 県民への生涯学習の場提供。

展示概要

・ ニュートリノコーナー…ニュートリノの研究で知られる名古屋大学の丹羽教授が考案した検出機材や、カミナカンデの光電子増倍管等を展示している。

活動概要

・ 来館者の科学体験とスタッフとの「サイエンスコミュニケーション」を特徴とする。したがって展示は少なく、実験や科学工作を重視している。

延床面積

・ 5,971 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 19名 (2004年 12月現在)

年間運営費

・ 14,500,000 円 (2003年度)

総資料点数

・ 点 (年 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：サイエンスフェア

活動目的・経緯

- ・地域の理科の先生や科学の好きな方々に、活動の場を提供する。
- ・市民に科学実験・工作を楽しんでもらい、興味・関心を持っていただく。
- ・4年前から夏休みに2～3日間実施。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 約30名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：サイエンス課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 科学実験・工作の講師。
- ・ 実験・工作の助手。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①サイエンスフェア

◇活動開始年（西暦）

- ・2000年

◇活動人数

- ・30名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・科学実験・工作の講師や助手。

◇活動日

- ・夏休み2～3日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ブース形式で分散。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・教育委員会、理科教育研究会（理科の先生の会）、企業、当館で実施している「地域指導者養成講座」の参加者に5月ころ連絡して募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・日当8000円（1人、1日） 高校生は5000円。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 高山陣屋

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1974年04月01日

所在地

- ・ 〒506-0012 岐阜県高山市八軒町1-5

公式サイト

- ・ <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s27212/>

設立主体

- ・ 岐阜県

運営主体

- ・ 岐阜県教育委員会

設立目的

- ・ 飛騨の政治を行った陣屋跡を、文化施設として残すため。

展示概要

- ・ 陣屋遺構：我が国唯一の原形をとどめる陣屋跡。御門、御役所、御蔵などを有する。
- ・ 天領俵、一揆の嘆願書・連判状、宗門人別帳、検地水帳、町年寄日記など、藩政、天領行政、明治初期に至る展示物総数約1,500点。

活動概要

- ・ 小中学生を対象にした「おもしろ歴史教室」などを開催。

延床面積

- ・ 3,018.06 m²

全職員数

- ・ 職員4名 非常勤専門職18名

年間運営費

- ・ 102,736千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 1,500点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：高山陣屋管理事務所ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 「高山陣屋」の「開放」「保存」「研究」の理念に基づき、陣屋事業等に対する県民参加と支援体制の推進を図るため。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 381名（2004年）
- ・ 男性：147名、女性：234名（2004年）
- ・ 平均年齢65.7歳：男性70歳、女性63歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：管理調整 担当人数：常勤1名・その他（管理業務推進職）2名

活動の種類

- ・ ①語り部ボランティアの会、②邦楽協力会、③ギャラリー協力会。

活動その他

- ・ 随時募集。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①語り部ボランティアの会

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 11 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 陣屋の説明案内を行う。

◇活動日

- ・ 4 月～12 月の第 2 日曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 腕章、名札、名刺は陣屋が支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 1 日 4 時間以内。
- ・ 1 人、月 2～3 回。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 毎月、および随時、文書を送付。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 経験者に限る。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②邦楽協力会

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 207 名 (2004 年) (11 団体)

◇活動内容

- ・ 陣屋内において邦楽演奏（三味線・琴・尺八など）を行う。

◇活動日

- ・ 毎年 3 月～11 月までの日曜日の午前中。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 着替等に会議室を貸し出す。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 人、毎年 1 回～2 回演奏。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 1 回、運営会議を開催。
- ・ 随時連絡を行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③ギャラリー協力会

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 174 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ギャラリー（お客様休憩室）において、写真・絵画（原則飛驒にかかわりのあるもの）などの展示を行う。

◇活動日

- ・ 1～12 月、1 ヶ月ごとに展示を交替する。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 人 1 回 (1 団体のみ 2 回)。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 1 回、運営会議を開催。
- ・ 随時連絡を行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 原則として飛驒にかかわりのある作品の展示をお願いしたい。

◇その他

・

.....

館園名 : 中津川市鉱物博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1998 年 05 月 01 日

所在地

・ 〒508-0101 岐阜県中津川市苗木 639-15

公式サイト

・ <http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/museum/>

設立主体

・ 中津川市

運営主体

・ 中津川市教育委員会

設立目的

・ 長島鉱物コレクションの資料と調査研究、及び苗木地方を中心とした地学資料の収集、保存・展示・研究さらには野外の自然とのふれあいをとおして、市民の自然科学の学習・教育に寄与する。

展示概要

・ 長島鉱物コレクション、苗木地方の鉱物と花崗岩、鉱物の性質や暮らしとの関わりについて、実物標本、模型、パソコン・映像などで、わかりやすく展示、解説する。

活動概要

・ 自然科学を主なテーマにした自主企画展と個人、団体が収集、研究されたテーマを共催で開催する「私の展示室」の開催。
・ 自然体験などの各種教室、講演会などの実施。
・ 企画展、解説書、鉱物館だより、年報などの発行。

延床面積

・ 1,865 m²

全職員数（常勤職員）

・ 10 (5)名 (2005 年 1 月現在)

年間運営費

・ 32,000,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 9,300 点 (2004 年 3 月現在)

施設その他

・ 別棟（鉱物と親しむプレザン）、ミュージアムショップ併設。

2. ボランティア活動 名称：中津川市鉱物博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 個人と博物館が、相互作用により、互いの目的を達成できるよう生涯学習機能を充実していくことをめざすために、ボランティアの受入をはじめ。希望者は基礎講座を受講し、登録後、活動をはじめ。2000年度より実施。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 6名（2005年1月現在）
- ・ 男性：5名、女性：1名
- ・ 平均年齢55歳：男性53歳、女性63歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ① 展示解説。
- ② 資料整理。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 現在、活動については、個人の自由としている。今後、会員が増加した時点で、活動方法を調整していく予定。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 2名（2004年12月現在）登録者3名

◇活動内容

- ・ 常設展示の解説。

◇活動日

- ・ 自由。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 特になし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ボランティア講座を開催。年1回募集、5人程度。登録後、活動を1年以上実施しない場合は、抹消することがある。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 適時、職員が対応。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険負担。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 将来的には特定の日を実施していきたい。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②資料整理

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 0 名（2004 年 12 月現在）登録者 3 名

◇活動内容

- ・ 標本、図書等の整理。

◇活動日

- ・ 自由。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 特になし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特になし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ボランティア講座を開催。年 1 回募集、5 人程度。登録後、活動を 1 年以上実施しない場合は、抹消することがある。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 適時、職員が対応。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険負担。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 飛騨古川まつり会館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1992年06月25日

所在地

・〒509-4234 岐阜県飛騨市古川町老之町14番5号

公式サイト

・<http://>

設立主体

・古川町（平成16年2月1日合併により現在飛騨市）

運営主体

・起し太鼓の里協会

設立目的

・古川町の活性化のために企画された「起し太鼓の里」構想の核施設として建設された。

展示概要

・常時3台の屋台が展示されている。保存を前提として絢爛豪華に装飾した屋台の展示に当たり屋台蔵と同条件になるよう温度調整ができる内容となっているほか、古川祭の主体である起し太鼓がハイビジョン立体映像で見られる。そのほか、からくり人形の実演が行われている。

活動概要

・伝統工芸を守るため地元の大工さんによる平成屋台瑞鳳台の作成展示や、一位一刀彫、切絵、飛騨絵馬の実演等行っているほか、古川祭に関する資料等も展示されている。

延床面積

・1,950 m²

全職員数（常勤職員）

・8名（2004年12月現在）

年間運営費

・70,000,000円（2003年度）

総資料点数

・300点（16年12月現在）

施設その他

・施設の老築化が一部進み一部リニューアル実施中。
・合併等により施設運営の民営化が図られている。

2. ボランティア活動 名称：古川町夢ふるさと案内人会

活動目的・経緯

- ・自分達の知っている古川を、大好きな古川を観光客の皆様を知って頂きたい。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 15名（ 年 月現在）
- ・ 男性：11名、女性：4名
- ・ 平均年齢66歳：男性69歳、女性63歳

ボランティア担当職員（16年12月現在）

- ・ 部局名称：事務長
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・古川の町を、時間に合わせてご案内します。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・朝露塾と題して、歴史講座を数回開きました。

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・当地区の小中学校と連携し当市の伝統文化財や匠の技術等について、理解を深めるため工房室を作成して実施している。

.....

館園名 : 瑞浪市化石博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1974年05月01日

所在地

・〒509-6132 岐阜県瑞穂市明世町山野内1-13

公式サイト

・<http://www.sity.mizunami.gifu.jp>

設立主体

・瑞浪市

運営主体

・瑞浪市

設立目的

・化石資料の保存、収集、研究、展示のため。

展示概要

・瑞浪地域から産する化石を中心に展示し、自然の変遷を理解する。

活動概要

- ・特別展の実施。
- ・夏期講座サマースタディの実施。
- ・野外学習の実施。
- ・資料の収集。
- ・研究報告などの発行。
- ・博物館実習生の受け入れ。
- ・館員による研究。
- ・学芸員研修事業。

延床面積

・992 m²

全職員数（常勤職員）

・5名（2004年12月現在）

年間運営費

・ 円（2003年度）

総資料点数

・約250,000点（2004年12月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・①資料検索システム データベース入力・標本整理。
データベース登録資料を増やし、当館の収集資料の Web 上での公開を目指す。
- ・②講座（ショートコース）の実施。
小中学校完全週休二日制に対応し、簡単に化石を学び、自然に関する理解を深める。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 5 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性：2 名、女性：3 名
- ・ 平均年齢 60 歳：男性 65 歳、女性 45 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・①データベース入力、標本整理。
- ・②ショートコースの実施主体。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・2001年

◇活動人数

- ・5名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・①データベース入力、標本整理。
- ・②ショートコースの実施主体。

◇活動日

- ・週1回または土曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・無。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・無。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・無。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・無。

◇評価

- ・無。

◇課題と展望

- ・人員の確保。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 美濃加茂市民ミュージアム

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2000 年 10 月 01 日

所在地

・ 〒 505 - 0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1

公式サイト

・ <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

設立主体

・ 美濃加茂市

運営主体

・ 美濃加茂市

設立目的

・ 生涯学習振興のため、学校教育と社会教育の融合を図りながら、地域の自然、歴史、および文化に関する市民の理解と認識を深め、主体的な学習および文化活動の場とするため。

展示概要

・ 常設展示室では、この地域の自然、歴史と文化について「川とみちと人」をメインテーマにわかりやすく展示。ゆかりの坪内逍遙や、津田左右吉についての紹介など。

活動概要

・ 常設展示のほか、テーマに沿った企画展・特別展を開催。市民グループの作品発表など。情報学習室では、パソコンを使った学習ができる。他、工芸室、「緑のホール」、教育相談室など。

・ 各種講座、イベント、ワークショップの実施。

・ 展示図録、年報「みのかも文化の森」を発行。

延床面積

・ 5,879.21 m²

全職員数（常勤職員）

・ 12 名（2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 147,054,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 71,856 点（2004 年 3 月現在） 台帳整理済みのみ

施設その他

・ ミュージアムと教育センターの機能をあわせもつ「みのかも文化の森」の施設のひとつ。公園内には、自然観察の森、民具展示館、生活体験館などがある。現在は、生活体験館の北側に、「体験工房」があり、染色活動ができる。

2. ボランティア活動 名称：みのかも文化の森ボランティア

活動目的・経緯

・開館前 2000 年 5 月に募集、数回の研修後に登録、活動を始める。ミュージアムの事業を考慮し、5 つの分野を設定（イベントボランティアは 2004 年より）、文化の森と利用者の橋渡しの役目を果たしていただくこと、人々のさまざまな経験や発送などを事業に生かし、利用者サービスの充実につとめること、自発的な活動の場・社会還元の場として利用してもらうことを目的としている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 155 名（2004 年 12 月現在） 複数の分野に登録している人もいる。
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 庶務係、学芸係、学習係
- ・ 担当人数：常勤職員 6 名・その他（臨時職員 1 名）

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示ガイドボランティア
- ・ アートボランティア
- ・ 生活体験ボランティア
- ・ 学習支援ボランティア
- ・ 伝承料理の会
- ・ イベントボランティア

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 各分野から選出された世話人により構成される世話人会へ、市から委託料を払う。
- ・ 全体研修として、企画展研修会、他の博物館等のボランティア活動見学回、その他の研修会がある。
- ・ 市の負担で、ボランティア保険に加入。活動についてはすべて無償。
- ・ ボランティア室、ボランティア日誌あり。

関連する出版物

- ・ 『みのかも文化の森年報』 vol.1～4. （ボランティア活動のまとめを掲載）

関連するHP

- ・ <http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：展示ガイドボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 12 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 主に、常設展示室にて展示品の解説などを行う。

◇活動日

- ・ 月に一度定例会のあるほかは、個人の都合に合わせて活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時、選考などは行わず。ただし、四月に一度ミュージアムニュース、市広報などに募集を掲載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 常設展に新しい展示が入ったときや、企画展前などに展示内容について研修を学芸員と共に行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 市の負担でボランティア保険に加入。他は無償で活動。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 2004 年は、春に開催した考古系展示の関連行事の準備や陶磁の引率なども行った。

活動個別シート② 活動名：アートボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 18 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ ミュージアムで開催する講座のお手伝いや自主企画のイベントを行う。

◇活動日

- ・ 月に一度定例会のあるほかは、講座等のある際。（第二・三火曜日夜）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室、ボランティア日誌。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時、選考などは行わず。ただし、四月に一度ミュージアムニュース、市広報などに募集を掲載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 市の負担でボランティア保険に加入。他は無償で活動。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 「アート」を広める目的で、2001年から映画の上映会を開催。
- ・ 市内にある彫刻作品の清掃活動も行う。（作品は1988年から1997年まで開催した「美濃加茂彫刻シンポジウム」のもの）

活動個別シート③ 活動名：生活体験ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 43 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

- ・ 講座等の開催日、その準備日など。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。ボランティア日誌。

◇運営（シフト 等）

- ・ 世話人を含む、運営委員会を設けている。講座の準備や検討会などを行っている。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時、選考などは行わず。ただし、四月に一度ミュージアムニュース、市広報などに募集を掲載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 随時、必要に応じて開催。たこづくり講習会や干し柿づくり、年中行事など。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 市の負担でボランティア保険に加入。他は無償で活動。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

- ・ 昔の生活体験の作文集（聞き取りもあり）を刊行。
『昭和のくらし体験集1 昭和前・中期のお手伝い』（2004年3月）
『昭和のくらし体験集2 子供の頃の思い出の味』（2004年11月）

活動個別シート④ 活動名：学習支援ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 34 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 児童、生徒、園児がミュージアムで学習する際に支援する。

◇活動日

- ・ 個人の都合に合わせて活動（基本的に火～金曜）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室、ボランティア日誌。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時、選考などは行わず。ただし、四月に一度ミュージアムニュース、市広報などに募集を掲載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 随時（2004 年は、「森の音づくり講座」の準備会を開催）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 市の負担でボランティア保険に加入。他は無償で活動。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 9 月に学習支援ボランティア企画の「森の音づくり講座」を実施（2003 年より）。

活動個別シート⑤ 活動名：伝承料理の会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 45 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 伝承料理の研究や講座のお手伝いなどをする。

◇活動日

- ・ 班ごとに順番で行う。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室、ボランティア日誌。

◇運営（シフト 等）

- ・ 4つの班に別れ、順番に活動する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人のほか、各班に班長と副班長がいる。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時、選考などは行わず。ただし、四月に一度ミュージアムニュース、市広報などに募集を掲載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 地域の伝承料理の体験に年に一度でかける。また講座前には調理研究を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 市の負担でボランティア保険に加入。他は無償で活動。調理用エプロンは貸与。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 講座で調理した料理を中心にレシピ集を作成。
『おばあちゃんのおかって』NO.1(2002.11刊行)
『おばあちゃんのおかって』NO.2(2003.12刊行)

活動個別シート⑥ 活動名：イベントボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 3 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・森のコンサートを中心に、ミュージアムで開催するイベントでの会場整理や来場者案内などを行う。

◇活動日

- ・年に四回程度。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・随時、選考などは行わず。ただし、四月に一度ミュージアムニュース、市広報などに募集を掲載。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・常設展に新しい展示が入ったときや、企画展前などに展示内容について研修を学芸員と共に行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・市の負担でボランティア保険に加入。他は無償で活動。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・森のコンサートなどのイベントで協力したいとの声があり、2004年1月に募集。同年4月から正式に活動している。